

## I 組織の使命

企画部は、将来を見据えた総合的で計画的な行政運営を図るための総合計画に関することをはじめ、重要政策の企画および調整、さらには、地域の国際化や広報・広聴、東部4支所管内の地域振興、広域行政に関することを所管しています。

**企画部のミッション（使命）は、**

広い視野で多角的に将来を見通す努力を怠ることなく、地域の環境や歴史、人・もの・情報などの価値を捉え、庁内各部局と連携を図りながら、市民ニーズを的確に把握し、市民や各種団体、企業等と協働して、部局横断的な課題や社会情勢の変化に対応した新たな政策課題に取り組み、**将来にわたって活力を持続できる地域づくりをめざす**ことです。

このため、企画部は、下記に掲げる組織の基本方針に基づき、庁内各部局と連携し、総合計画等の進行管理および各種計画の調整とともに、広報・広聴活動をはじめ、重要政策の企画および調整、新たな政策課題に対応した施策の事業化などに取り組んでまいります。

## II 組織の基本方針

### ○ 総合的で計画的な行政運営を図ります。

市民、企業、団体および行政が一体となって取り組むべき指針として策定した総合計画における基本構想の将来像「北のクロスロードHAKODATE～ともに始める 未来を拓く～」の実現に向け庁内各部局と連携し、基本構想の実施計画および分野別の各種計画等を推進します。

### ○ 市民協働によるまちづくりを進めます。

政策立案や施策、事業の推進に際し、ソーシャルメディア等の各種ツールを活用するなど効果的な広報・広聴活動を実施し、市民に幅広い周知を図るとともに、多様な分野の市民や各種団体、企業等との協働による取り組みを進めます。

### ○ 新たな政策課題や横断的な行政課題に積極的に取り組みます。

まちの活力を持続し、まちづくりを推進するため、社会経済情勢をふまえた新たな政策課題や横断的な行政課題に対応した、新規施策の事業化等に積極的に取り組みます。

### Ⅲ 年度評価 総評

企画部は、将来を見据え、総合的で計画的な行政運営をめざし、総合計画や重要政策、地域の国際化、広報広聴、東部4支所管内の地域振興、広域行政の推進等に取り組んでいます。

総合的・計画的な行政運営を図るため、総合計画および活性化総合戦略の推進に努めました。また、市民生活やまちづくりに必要な社会基盤の整備を図るため、国等への要望活動を実施しました。

重要施策の企画・調整として、市民協働の推進や企業との連携、高等教育機関の連携等に努め、函館国際水産・海洋都市構想の推進においては、新たな養殖産業の創出と若者の雇用機会の創出を目指す地方大学・地域産業創生交付金事業について実施計画に従い各事業に取り組んだほか、北極域研究船の誘致活動を実施しました。

また、高度で幅広い知識や技術を有する看護人材養成のための看護系大学等の設置検討に向けた調査を実施しました。

そのほか、移住検討者向けにHPをリニューアルしたほか、新たなパンフレットを作成するなど情報発信を強化し、移住者・定住者の誘致に努めたほか、道南いさりび鉄道への支援に取り組むとともに、地域公共交通計画を策定しました。

「函館市デジタル変革推進ビジョン」を策定し、市のデジタル変革の方向性を示すとともに、デジタル変革を推進するための取組や体制などについて検討を進めたほか、函館市公式LINEをリニューアルし、災害などの情報発信の強化やスマートフォンでできる手続きの拡充を行いました。

地域の国際化推進として、地域で生活する外国人支援のため、生活相談窓口の開設や日本語教室の開催など、安心して生活できる環境を整備しました。

広報・広聴機能の充実として、市ウェブページのCMSシステムの更新にあわせてトップページ等のデザインを一新しました。

東部地区の地域振興では、まちづくり懇談会を通じ、地域の現状などの情報収集に努めました。

広域行政の推進として、南北海道の各自治体と連携・協力し、広域的課題に取り組んだほか、「青森・函館ツインシティ推進協議会」による事業を通じ、青函両市民の交流機会の拡大を促進しました。

いずれの項目についても、ほぼ当初に掲げた目標を達成することができました。

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 総合的・計画的な行政運営			
(1) 函館市総合計画の推進			
(2) 函館市活性化総合戦略の推進			
(3) 国等への要望活動の実施			
2 重要政策の企画および調整の実施			
(1) 市民協働の推進			
(2) 函館国際水産・海洋都市構想の推進			

区 分	担当課	評価	評価の説明
<p>(3) 高等教育の機関の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の8つの高等教育機関と経済界とともに設置しているキャンパス・コンソーシアム函館において、合同研究発表会などの各種事業を円滑に実施するほか、函館・高等教育プラットフォーム中長期計画に基づき、高等教育に係る課題解決や高等教育機関の連携事業に取り組みます。</li> </ul>	水産海洋・高等教育担当	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>函館・大学センター構想に基づき、キャンパス・コンソーシアム函館に参画し、単位互換事業、合同公開講座「函館学」や合同研究発表会「アカデミックリンク」の開催など高等教育機関との連携事業を行った。</li> <li>アカデミックリンクに関しては、4年ぶりに対面により開催し、学生が来場した市民に向けて広く研究成果を発表するとともに、学生同士による活発な意見交換が行われた。</li> </ul>
<p>(4) 看護人材の養成・学生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における看護人材の養成に係る手法の検討や、公立ほこだて未来大学の学生への支援の検討に取り組みます。</li> </ul>	計画調整課 企画管理課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度で幅広い知識や技術を有する看護人材養成のための看護系大学等の設置検討に向けた調査を実施した。</li> <li>入学時3年前から生計維持者の住民票が函館圏域にある公立ほこだて未来大学学部生に対し、授業料等の無償化に係る予算措置を行った。</li> </ul>
<p>(5) 移住者の誘致・人口減少対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力をPRし、仕事や子育て、住居など生活にかかる情報を発信するなど、首都圏の在住者などからの移住促進に努めるほか、人口減少対策に組織的に取り組むための方法の検討を行います。</li> </ul>	企画管理課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと回帰支援センター(東京)へパネルブースを設置したほか、SNSなどによる本市の魅力や各種施策をPRするとともに、オンラインによる移住検討者向けのセミナーを開催するなど、首都圏在住者等の移住促進に取り組んだ。</li> <li>移住を検討している方に興味をもってもらえるようにHPを大幅に見直したほか、先輩移住者の情報を魅力的に紹介した新たなパンフレットを作成するなど、情報発信の強化に努めた。</li> <li>人口減少対策を部局横断的に取り組むため、市長を本部長とした人口減少対策本部を設置し、新年度要求につながる具体的な取り組みを位置付けた。</li> </ul>
<p>(6) デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「(仮称)函館市デジタル化推進協議会」や市民アンケートにおける意見を踏まえながら、「(仮称)函館市デジタル化推進ビジョン」を策定し、デジタル技術等の活用により、地域社会の課題の解決や地域の魅力向上、地域の活性化に向けた取組を進めます。</li> </ul>	地域 デジタル課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT関係に精通した有識者等で構成する「函館市デジタル変革推進協議会」や市民アンケートにおける意見を踏まえ、「函館市デジタル変革推進ビジョン」を策定し、市のデジタル変革の方向性を示すとともに、デジタル変革を推進するための取組や体制などについて検討を進めた。</li> <li>函館市公式LINEをリニューアルし、災害などの情報発信の強化や、スマートフォンでできる手続きの拡充を行った。</li> </ul>
<p>(7) 鉄道旅客輸送の充実・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>札幌延伸に伴う並行在来線のあり方について、北海道や沿線自治体と協議を進めるとともに、新幹線の函館駅乗入れに関する調査を実施します。また、道南いさりび鉄道株式会社への支援を行います。</li> </ul>	新幹線対策 担当	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道と沿線自治体で構成する「北海道新幹線並行在来線対策協議会渡島ブロック会議」においてJR北海道からの経営分離後の地域交通のあり方について協議・検討を行った。</li> <li>新幹線の函館駅乗入れに関する調査を実施した。</li> <li>道南いさりび鉄道株式会社に対して毎年度の経営安定化補助に加え、鉄道の安全・安定運行を図るために必要な設備投資に対する臨時的な支援を行った。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
<p>(8) 持続可能な公共交通網の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来にわたって持続可能な公共交通網を構築するため、地域公共交通計画の策定に向けた取り組みを進めるとともに、生活交通路線維持のための補助を実施します。</li> </ul>	交通政策課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>函館市地域公共交通計画を策定した。</li> <li>生活路線バス事業者に対し、生活交通路線の維持に係る運行補助を行った。</li> </ul>
<p>3 地域の国際化の推進</p>			
<p>(1) 地域の国際化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹・友好交流都市を中心に世界各国の人々との様々な交流を図るとともに、地域で生活する外国人に対し、相談窓口の開設や日本語教室の開催などの支援を行うことで、安心してともに生活できる環境を整備し、国籍を超え、互いの文化や多様な価値観を認め合う多文化共生を推進します。</li> </ul>	国際・地域交流課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と在住外国人と様々な交流事業を実施し、相互理解の促進に取り組んだ。</li> <li>外国人生活相談窓口の開設や日本語教室の開催などの支援を行ったほか、SNSを活用し、各種の生活および市政に関する情報はじめ、生活や市政に関する情報を多言語で発信するなど、在住外国人が安心して生活できる環境を整備し、地域の多文化共生を推進した。</li> </ul>
<p>4 広報・広聴機能の充実</p>			
<p>(1) 広報・広聴機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルメディアの活用、市Webページや市政はこだての紙面の充実など市民に伝わる広報をめざすとともに、より多くの市民の意見や提言を把握し、施策への反映につなげるため、広報・広聴機能の充実に努めます。</li> </ul>	広報広聴課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>市WebページのCMSシステム更新にあわせてトップページ等のデザインを一新したほか、職員に対し「広報広聴マニュアル」の周知を行った。</li> <li>市長と市内の各種団体や大学生等と懇談する場を設定し意見交換したほか、「市民の声」により広く市民からの意見等を聴取し、市政運営の参考とするとともに市の対応状況等を公表した。</li> </ul>
<p>5 東部地区の地域振興</p>			
<p>(1) 東部地区の地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東部地区において、人口減少や高齢化が著しく進行している状況を踏まえ、将来にわたって、地域特性を生かした、活力ある地域として持続できるよう地域の振興に努めます。</li> </ul>	計画調整課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>東部地区における地域共通の課題や振興策等に関する協議の場となる「東部地域まちづくり懇談会」にオブザーバー参加し、地域の現状などの把握に努めた。</li> </ul>
<p>6 広域行政の推進</p>			
<p>(1) 広域連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の各自治体との連携・協力関係を密にし、北海道新幹線や高速道路網、空港、港湾の整備促進など、様々な広域的課題に取り組むほか、南北海道地域の発展のため、函館市と周辺市町が連携・協力しながら、「南北海道定住自立圏共生ビジョン」に基づく事業の推進に努めます。</li> </ul>	計画調整課 国際・地域交流課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の各自治体が参画する渡島総合開発期成会において、北海道新幹線、高速道路網、空港、港湾の整備促進などについて、国や北海道等に対する要望活動を行った。</li> <li>南北海道定住自立圏共生ビジョンについては、担当課長会議や懇談会の開催を通じて、地域間連携を図るとともに、KPI等の進捗状況の把握と評価を行い、所要の変更を行うなど、事業推進に努めたほか、第3次南北海道定住自立圏共生ビジョンを策定した。</li> </ul>

区 分	担当課	評価	評価の説明
(2) 青函交流の推進			
<ul style="list-style-type: none"> <li>「青森・函館ツインシティ協議会」などを通じ, 青函交流の活性化に努めます。</li> </ul>	国際・地域交流課	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>青函ツインシティ写真コンテストの実施や市ホームページ等での情報発信, 北海道・北東北の縄文遺跡群PR事業の実施など青函交流を推進した。</li> </ul>